

科目名称	臨床看護概論Ⅱ	学年学期	単位数	時間数
		2学年後期		29
担当教員	原田 和恵	授業に関わる 実務経験	<input checked="" type="checkbox"/> 有 ( 看護師 ) <input type="checkbox"/> 無	

## 【1】 授業概要

看護の視点で健康障害をとらえ、看護の基本として様々な健康上のニーズをもつ、あらゆる年齢層の人々に既習の基本的な看護の考え方や、知識・技術を統合して応用するプロセスを学習する。

健康障害をもつ患者とそれを支える家族が身体的・精神的・社会的にどのような援助を必要とするようになるかを、多角的に学習する。

## 【2】 学習目標

1. 症状を示す患者の病態をとらえ、それに対する看護のポイントを理解できる。
2. 医療施設における看護、外来看護の役割、地域・在宅看護の基礎について理解できる。

## 【3】 ディプロマポリシーとの関連性

- 1. 生活者としての人間の理解
- 2. 人間の生命、尊厳および権利を尊重した多様な価値観をもつ人間の理解
- 3. 看護の基礎的知識・技術・態度の修得
- 4. 科学的根拠に基づいた看護援助の実施
- 5. 多職種との連携・協働
- 6. 地域医療の理解と生活の支援
- 7. 看護専門職としての主体的な学びの継続

## 【4】 授業計画

	内容	主な授業形態
1	第4章 主な症状に対する看護 貧血のある患者の看護、出血傾向のある患者の看護	講義
2	ショック状態の患者の看護	講義
3	咳嗽・喀痰のある患者の看護、悪心・嘔吐のある患者の看護	講義
4	呼吸困難のある患者の看護	講義 DVD
5	嚥下困難のある患者の看護	講義
6	排尿障害・排便障害のある患者の看護	講義
7	黄疸のある患者の看護、発熱のある患者の看護	講義
8	脱水のある患者の看護	講義
9	浮腫のある患者の看護	講義 演習
10	痛みのある患者の看護	講義
11	感覚障害のある患者の看護、意識障害のある患者の看護	講義 DVD
12	不安・抑うつのある患者の看護	講義
13	第6章 継続看護と多様な場における看護 地域包括ケア時代の継続看護	講義
14	多様な場における看護	講義
15	試験	

## 【5】 評価方法

筆記試験

## 【6】 教科書

中村恵子 他著「看護学入門7 基礎看護Ⅲ」第3版 メヂカルフレンド社 2024年

## 【7】 参考書

水戸優子 他著「新看護学8 基礎看護[3] 臨床看護概論」医学書院 2024年

藤野彰子他 編著「新訂版 看護技術ベーシックス 第2版」サイオ出版 2024年

## 【8】 受講生へのメッセージ

- ・臨床看護への理解を深める授業です。楽しく学びましょう。
- ・教科書の該当ページ、を読んで講義に臨みましょう。
- ・看護概論、基礎看護技術、成人看護、老年看護、母子看護、精神看護で既習のもの、順次学習するものがあります。既習のものは復習しておきましょう。